

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

くれよん家族参加BBQ



10月13日(日)にくれよんで初めての家族参加型のBBQが行われました。10月の半ばになるというのに当日は気温が高かったのですが、9日開催分が雨天中止になったことを思うと天気に恵まれて良かったな

と安心する部分がありました。くれよんでは、子どもたちだけが参加するBBQのイベントを何度か開催していましたが、初の家族参加ということで子どもも大人もみんなで楽しめるようなレクリエーションを考え



たり、どのくらい食べるだろうかと考えて食材の買い出しを行いました。今回は食事をしながらご家族さん同士の交流もできればと考えていましたので、楽しく美味しく食べて過ごしてもらっていました。実際、開催した後の支援者間での振り返りでは話しやすいテーマや、くれよんでの過ごし方や、学校生活、進路・就職について等、ご家族が気になっているかもしれないことをみんなで話したり、考えたりする時間があったのも良かったのではないかな等の意見がでていました。普段の



くれよんでの雰囲気を見ても
らったり、気軽に相談できる
機会になればいいなという思
いがあり、今後も定期的に開
催していきながら恒例行事に
なっていければいいなと考え
ますので「〇〇話をする機会
があったらいいな」「〇〇な形
だったら参加してみたいな」
といったご意見がありましたら
是非教えて下さい。今回B
BQに参加するのに時間を作
って頂きありがとうございます
でした。また、BBQ当日も様々
な形で協力して頂き大変助か
りました。今回予定が合わず
に来ることができなかったご
家族の方々には次の機会に参

加して頂ければと思いますの
で、次回開催に向けて準備を
進めて参ります。

～日帰り旅行～

(生活介護 藍(南館))

10月の日帰り旅行はアン
ケート形式で3つのなかから
行きたいところを選んでもら
いました。3日は京都鉄道博
物館、10日は神戸南京町、

(鉄人28号の前でポーズを
決める利用者さん)



17日と24日は六甲山牧場
へ行きました。みんなそれぞ
れ行きたかった所で楽しい思
い出を作ることができたこと
(京都鉄道博物館にて)

あり、写真に写る利用者さん
の表情もとても良かったで
す。

(六甲山牧場にて)



身長を計測

今年4月の法改正により、
利用者さんの健康を把握する
目的で年に2回身長と体重を
計測することになりました。
体重、血圧、検温に関しては
日頃から測定していました
が、身長に関しては計測した
ことがありませんでした。そ
こで、月に一度訪問してくだ
さっている嘱託医の先生に相
談させて頂いたところ診療所

の測定器を使わせてもら
うことを快く受け入れてもら
えました。普段から通院してい
る病院で測定されている利用
者の方もおられると思います
が、恐らくほとんどの方が身
長を測定するのは高校生以来
なのではないでしょうか。嘱
託医の医師や看護師さんとは
事業所での面識がありました
が、病院へ行って会うのは初
めてです。少し緊張している
方もいましたが、普段から関
りのある看護師さんがおられ
たこともあり、会話が弾み緊
張も少し和らいでいました。
和やかな雰囲気の中で計測を
開始。ほとんどの利用者の方
が笑顔で計測する事ができ、
無事に終了しました。



(身長を測る利用者さん)

ハロウィンパーティー

(生活介護藍本館)

10月26日にハロウィンパーティーを開催しました。昨年のこの時期は茶話会を

行っていました。ハロウィンパーティーをしてみたいという意見が上がり開催すること



(ドラキュラのクイズに答える利用者さん)

になりました。開催に向けてまず何をしたいかを支援者間で話し合い「トリックオアトリートを取り入れてみたい！」や「お菓子を食いたい」「仮装をしよう！」等の意見があり、話し合いの末に当日までのタイムスケジュールを完成させました。数週間前から毎週創作の時間に利用者さんが使用するカボチャの帽子・マント・ランチョンマット・お化けの飾り物等を作るために色画用紙にシールや色塗り等の工夫を施して支援者と一緒に準備を進めました。また、普段行っている毎週木曜日の創作の時間では作品ができあがると皆に「たくさん



(手作り仮装)

の色を使いました」「大好きな支援者の顔を描きました」等と発表し作品を披露しています。「上手にできたね」「うわー、かっこいい」等の声が飛び交い、利用者さんもととても嬉しそうな笑顔をされ楽しい時間を過ごしています。ハロウィン当日の午前中はカボチャ帽子を仕上げ、マントを身にまとい仮装したかわいい利用者さんでイベントは盛り上っています。午後からはお菓子作りの時間で利用者さんと一緒にマシュマロにチョコペンでお化けの顔を描いたり、ケーキにカラースプレー等でトッピングをしたりとオリジナルのお菓子が完成しました。お菓子袋に詰めていよいよパーティーが始まります。男性支援者がドラキュラ、フランケンシュタイン・ミイラ男に扮して電気を消した薄暗い廊下等3カ所にて機しています。利用者さんは支援者と一緒に1組ずつお化けが待つ場所に向かいます。お化け



(お化け役の支援者)

は怖いけど勇気をもって向かっていく方や、お化けに対して大きな声をだして退治しようとする方、怖くて部屋に逃げ帰る方などそれぞれでしたが、最後には全員がお化けの所に行きお菓子をもらうことができました。お化けからお菓子をもらって戻ってきた利用者さんは皆キラキラした顔だったことが印象的でした。怖いけれどとても面白かった様子でその後ももらったお菓子とケーキを美味しく食べました。「ハロウィンパーティー楽しかった？」と尋ねると「楽しかった！」と元気な返事が聞けたことがとてもうれしかったです。

ヘルパー日誌

〜いつものので〜

師走に入りクリスマスに来年の準備と街中の景色が速足のように変わるこの時期に居宅介護ひらのでは毎年恒例になった支援があります。それは来年のカレンダーを買うこと。もちろん事業所で使うカレンダーではなく、利用者さんが、自宅で自分の為に使うカレンダーです。ヘルパーとして利用者さん宅を訪問すると多くのご家庭でカレンダーを目にします。一枚で一年間の日付が載っている物や、日付の下にメモ書きができる物などがあり、そのご家庭の都合にマッチしたカレンダーが飾られています。そんなカレンダーを見ていて自分で好きなカレンダーが買えたら良いのではないかと思ひ数年前からカレンダーを買いに行く

支援を開始しました。初めばかりの頃は、利用者さんの好みにあった動物や、キャラクターなどのカレンダーを勧めていたのですが、利用者さんの表情は暗く、納得できていない様子。最後の最後に日めくりカレンダーを勧めてみたところ『そう、これ、これ』と言っているかのような表情を見せてくれました。ただ、写真も絵もないカレンダーがなぜ良いのかと何度かからず、これで良いのかと何度も利用者さんに確認したことを覚えています。本当に欲しい物だったのかと不安を抱きつつもその日は日めくりカレンダーを購入し、帰宅しました。後日、その方のご自宅に訪問する機会があり、飾っているカレンダーを見てなんとなくですが、日めくりでないといけない理由がわかった気がします。日めくりカレンダーは一枚の紙にその日の日付しか書いていない為、今日が何日の何曜日なのかが目でわかるからだと思います。また、数字も大きく、

はつきりとしていて平日は黒、土曜日は青、日祝は赤色で統一されていることもわかりやすい要因になっていると思います。実際、別の日にかけた利用者さんも日めくりカレンダーを選ばれていました。利用者の立場にたって考える難しさを再認識した出来事でした。欲しいカレンダーが日めくりカレンダーだとわかってしまえばもう大丈夫。翌年からはカレンダーを買いに行こうではなく、日めくりカレンダーを買いに行くことに変わり、お店についてもまずは日めくりカレンダーを探すようになりました。今年は天王寺のMIOに出かけて購入し、その後は、美味しい中華を食べて帰宅しています。令和7年の日めくりカレ



ダーも利用者さん宅のいつもの場所にいつものように飾られ、ビリビリと音をたてながら毎日一枚ずつめくられていくことでしょう。

やってきました クリスマス

クリスマスが近づき、今年も法人にあるショーウィンドウをライトアップしました。今回は各事業所からの制作物にも力を入れ、昨年より

11月に生活介護で実施しました利用者満足度アンケートにご協力して頂き、ありがとうございました。入浴支援やグループホームへの関心の高さなど様々のご意見が集まり、今後の支援に活かして参ります。

クリスマスを感ずることができ、ショーウィンドウにすることができました。点灯スイッチの担当はくれよんの子供たちが担ってくれて、期間中は毎日交代でスイッチを入れてくれていました。陽が落ちて、周りが薄暗くなる中ショーウィンドウの前だけはとてもほっこりする気持ちになる場所となり、帰宅を急ぐ人たちも歩くスピードを落とし、数秒ですがクリスマス気分を味わって頂けたと思います。

ホームページもぜひご覧ください。



社会福祉法人 藍



有限会社 ひらの



地域生活サポート協会

活動内容など写真も掲載しています。